



一本道

相良中学校通信No.10

令和5年6月21日

校長 吉田憲一

1 胎児性水俣病患者坂本しのぶさんの講演会、2つのメッセージ！

6月15日、人権教育講演会として、胎児性水俣病患者の坂本しのぶさんと通訳等の谷由布さんをお招きし、全校生徒を対象に講演をしていただきました。小学校時代の出来事から始まり、スウェーデンやベトナム、スイスに渡航して集会に参加されたり、話されたりしたこと等、坂本しのぶさんの人生について、話していただきました。そして、最後に生徒たちに向けて次の2つのメッセージを伝えられました。生徒たちの心に、私たち職員の心にしっかりと届きました。

- ①水俣病は終わっておりません。今もまだ続いています。
- ②あなたたちには、絶対戦争に行ってほしくありません。



2 アンガーマネジメントとは？ 中学1年生の心に響きました。

6月16日、精神保健福祉士の檜垣先生をお招きし、1年生を対象に、アンガーマネジメント講演会を行いました。講演後に書いた感想を7人紹介します。今後の人生においても、素敵な学びになったようです。



相良中 HPへ

●山下まひろさん「怒りは誰の心にもあって、嫌だったことやよくないと思ったことは、正しく怒ることが大切だと思いました。」

●宮原りゆうくん「怒るという見方も変わったし、怒りが生まれるメカニズムも知ることができました。」

●光井ゆうわくん「めっちゃイライラしていても、人・物・自分は傷つけてはいけなことが分かりました。」

●元田きりゆうくん「怒りをコントロールすることを学びました。確かに、毎回少しのことで怒ると嫌に思われるので、これから気を付けようと思いました。」

●松永かほさん「自分の怒りに対して、点数・温度付けをしてみたいと思いました。」

●五藤ありささん「気持ちを落ち着かせるヒントは、深呼吸をすること、6秒数えること、ストレッチをすること、一旦その場を離れることが大事だと分かりました。」

●西ことなさん「これから歳を取って行って、怒る立場になって怒ることが多くなると思うので、今日学んだことを生かしたいと思います。」

